

平成 30 年 6 月 26 日

長野県感染対策研究会
代表世話人 本田孝行
長野県臨床検査技師会 感染対策委員会
担当者 堀内 一樹

信州インфекションコントロール・サーベイランスシステム(SICSS)
による長野県各地区の耐性菌分離状況についての報告
～2018 年 5 月データについての報告～
(データ集計日：2018 年 6 月 26 日 集計対象施設数：58 施設)

2018 年 5 月の VRSA、多剤耐性アシネトバクターの分離はありませんでした。
上記に示す薬剤耐性菌は感染対策上、非常に重要な耐性菌です。疑わしい株が分離された場合は、
下記問い合わせ先までご連絡ください。

＜VRE の分離状況について＞

中信地区で 1 株検出されています。昨年度から引き続き今後の動向に注意が必要です。なお、
検出された施設では感染対策を実施中です。

＜MRSA の分離状況について＞

長野県全体の分離率は 7.09 % でした。JANIS での全国の実分離率は 6.31 % (2017 年 7 月～9 月 四
半期報) であり、全国に比較し分離率が高い状況です。分離率が低下傾向にあった南信地区で分
離率が急上昇しました。南信地区は依然として他地域より高い分離率が継続しています。

＜多剤耐性緑膿菌の分離状況について＞

長野県全体の分離率は 0.02 % でした。JANIS での全国の実分離率は 0.05 % (2017 年 7 月～9 月 四
半期報) でした。先月とは異なり、北信地域で 1 株検出されています。なお、1 例でも分離が認め
られたご施設には、感染対策ご担当者様宛に別途メールにてご連絡申し上げます。

＜第三代セファロスポリン耐性大腸菌の分離状況について＞

長野県全体の分離率は 2.65 % でした。県全体の分離率にほとんど変化はありませんでしたが、
東信地区と中信地区で分離率が上昇しているため、注意が必要です。JANIS での全国の実分離率は
2.32 % (2017 年 7 月～9 月 四半期報) でした。JANIS で 2015 年集計分より用いられている第三
代セファロスポリン耐性大腸菌の判定基準よりも、SICSS での判定基準の方が厳しく設けられて
いるため、これらのデータは一概に比較はできません。なお、同一病棟または診療科から 3 例以
上分離されているご施設には、感染対策ご担当者様宛に別途メールにてご連絡申し上げます。

耐性菌検出検査や SICSS データ等につきまして、ご不明な点などございましたら下記担当者
までお問合せください。

【SICSS のデータを用いた学術活動について】

SICSS のデータを用いて学術活動 (学会発表や論文執筆など) を行う際には、必ず下記担当者
までご相談ください。また、学術活動の成果物の提出にもご協力お願いいたします。

お問い合わせ先
信州大学医学部附属病院 臨床検査部 春日 恵理子
TEL; 0263-37-3493、 e-mail; erika@shinshu-u.ac.jp